

形式：対面セミナー（配信あり）

補足： オンライン配信を実施します。会場での受講が難しい場合はオンラインでご受講ください
（録画配信となります。配信開始は開催後 3 営業日以内。配信期間は 1 週間程度）

ジャンル：知財

講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 2 0 7 t 1

化学・バイオ系発明に関しては、他分野の発明と異なる特殊なプラクティスがあり、それらを的確に理解して実務を行うことが必要です。実務へすぐに実践できるように説明をさせていただきます。人気講師の廣田氏が厳選した判例を解説。ただ判例を読むのではなく実務への活かし方も学ぶシリーズです。

化学・バイオ系発明に関する近年の実務上役立つ判例の解説と実務へのフィードバック

講師： 廣田弁理士事務所 代表弁理士 北里大学大学院非常勤講師 廣田浩一 氏

山梨大学 工学部 卒業。ヘキストジャパン株式会社（現；サノフィ株式会社）医薬総合研究所、福村国際特許事務所、太陽国際特許事務所を経て山の手合同国際特許事務所を設立。代表弁理士として 2022 年まで活躍。2022 年 6 月より伊東国際特許事務所と合流し所長代理・弁理士に。日本知財学会、日本ライセンス協会などに所属。化学・バイオ知財判例年鑑 2012～2019、裁判所による特許法解釈 などの著書がある。

- 日 時 2025 年 2 月 7 日（金） 13：00～17：00（講義：約 4 時間）
- 会 場 都内中心部またはオンライン配信 ※オンライン配信はライブ配信ではなく録画配信となります。
- 受講料 1 名 39,600 円（税込）

- | | |
|---|---|
| 1. 知財高裁平成 31 年 3 月 14 日「研磨用クッション材」事件
告知・公用発明の認定の仕方 | 8. 知財高裁平成 29 年 8 月 30 日「可変熱変性筆記具用水性インキ組成物」事件
「平均粒径」の語と明確性要件との関係 |
| 2. 知財高裁令和元年 8 月 28 日「酸味のマスキング方法」事件
進歩性の判断・考え方 | 9. 知財高裁平成 29 年 12 月 21 日「無洗米」事件
P B P クレームが明確性要件に違反するか否かの考え方 |
| 3. 知財高裁平成 31 年 2 月 14 日「フルオレン誘導体の結晶多形体」事件
化合物が告知の場合の結晶多形体の進歩性の判断・考え方 | 10. 知財高裁平成 30 年 8 月 22 日「染毛剤」事件
新規事項追加か否かの判断・考え方 |
| 4. 最高裁令和元年 8 月 27 日「局所的眼科用処方物」事件
進歩性判断における格別顕著な効果の考え方 | 11. 知財高裁平成 29 年 11 月 30 日「NK 細胞活性化剤」事件
新規性喪失の例外手続と国内優先権出願との関係 |
| 5. 知財高裁平成 30 年 5 月 30 日「積層フィルム」事件
発明の同一性の判断・考え方 | 12. 東京地裁令和元年 7 月 30 日「タンパク質を抽出する混合液」事件
特許発明の技術的範囲の解釈の仕方 |
| 6. 知財高裁平成 30 年 5 月 24 日「ライスミルク」事件
サポート要件の判断における発明の課題の認定の仕方 | 13. 東京地裁令和元年 10 月 30 日「スクラブ石けんの製造方法」事件
特許発明の技術的範囲の解釈の仕方 |
| 7. 知財高裁平成 29 年 2 月 22 日「黒ショウガ成分含有組成物」事件
サポート要件の判断・考え方 | 14. 大阪地裁令和元年 6 月 20 日「アルコール含有発泡性組成物」
特許権侵害で認定される実施料率の考え方 |
| | 15. 知財高裁平成 30 年 4 月 4 日「ピタバスタチン製剤」事件
パラメータ特許発明に係る特許権に対する先使用権主張の有効性 |

<習得知識>

- ・化学・バイオ系発明に特有な特許プラクティスを近年の判例から学ぶことができる
- ・判決における判示事項を実務にフィードバックすることができる
- ・判例の知識を活かして化学・バイオ系発明の特許の権利化・権利行使の際の留意点を習得できる

<講義概要>

化学・バイオ系発明について毎年多数の判例が出されています。権利化・権利活用の実務上の場面において、それらの判決における判示事項をいち早く取り入れ活用することが求められています。しかし、それらの多数の判決を一つ一つ内容を確認することは容易ではありません。本セミナーでは、化学・バイオ系発明に関する近年の判例の中で、特許出願～権利化～権利活用の各場面において実務上役立つものをピックアップして解説いたします。その解説を通じてその判例における判示事項をどのように活用すればよいのかをフィードバックいたします。このフィードバックを通じて、実験データの用意の仕方、明細書の記載の仕方、侵害立証の仕方、権利解釈の仕方など注意点乃至留意点を理解できるようにします。

化学・バイオ系発明に関しては、他分野の発明と異なる特殊なプラクティスがあり、それらを的確に理解して実務を行うことが必要であり、本セミナーでは実務へすぐに実践できるように説明をさせていただきます。

事前に判例に関する質問や相談事をまとめて来ていただけるとスムーズに当日回答できます。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）


FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/2/7	化学・バイオ系発明に関する近年の実務上役立つ判例の解説と実務へのフィードバック
会社名※		
所在地※ <small>（請求書等の送付先）</small>	〒	
参加者①	氏名※	TEL※
	所属※	FAX
	Email※	役職
	会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>
参加者②	氏名※	TEL※
	所属※	FAX
	Email※	役職
	会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する	
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する	
備考※		

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		